

臨時議会(5月16日~22日)終わる 所属は厚生文化常任委員会

渡辺ゆり子活動報告

渡辺ゆり子県議 所属委員会決まる

臨時議会開会の一長が選出されました。六日、新県議へのバツ(日本共産党県議団チがつけられ、渡辺ゆり子は議長に笹山一夫、り子県議も議会にの副議長に渡辺ゆり子ぞむ決意を新たにしと投票しました)ました。

渡辺ゆり子県議は、一六日は、議長選、厚生文化常任委員会副議長選挙が行われ、と景気・雇用対策特別委員会の委員とな長と、野川政文副議りました。



2007年5月27日
第2号
発行 日本共産党
村山地区委員会
山形市小白川町
4-13-15
電話 023(631)7103

飲酒運転

村山隆県議は

辞職すべき



派も自ら進退を明らかにすべきとしてきました。

一六日には、議会と致して、最も重い辞職勧告決議を全会一致で議決しています。

三日、村山隆県議(中山町)の飲酒運転が発覚し、改選後でまだ議会が成立してないものと、八日、一日、一六日と会派の代表者の会議が開かれ、対応が協議されました。村山県議も参加して結成されたばかりの県政公明クラブは、村山県議を除名処分とし、各



株式等の運用に対する 金持ち減税案に反対討論

臨時会最終日(一) 大多数の庶民は、(二) 渡辺ゆり子率減税廃止による増額議は反対討論に立税の直撃を受けたり、ちました。国の地方税ワーキングプアの増法改定にともなうも大など株に投資するので、株などの配当や余剰資金などない譲渡益に対する住民と述べ、資産家優遇の税の軽減を延長の住民税軽減措置のする内容の議案です。延長に反対しました。

渡辺県議は、「一六年度に約6億円7千のみの反対で斎藤知万円の減税になってい事の専決処分が承認」と数字も示し、されました。

し辞職を求めました。村山県議は、飲酒運転の事実を認めながらも、「選挙で選ばれたものとして県議の職責を果たしたい」と繰り返すのみでした。県議会は、今後問題にしていとして政治倫理審査会を立ち上げました。

飲酒運転に対して、一般企業の社員は、一



議の認識の甘さは、

民の感覚とかけ離れています。